

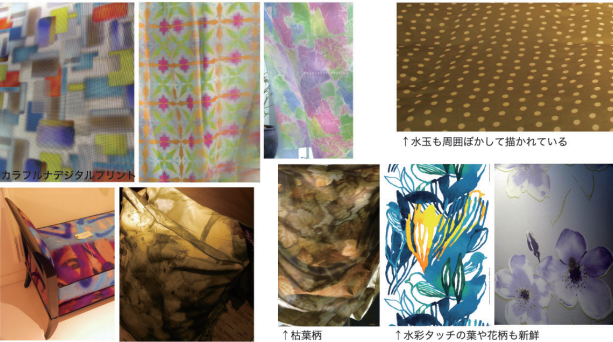
■ 2009・MAISON&OBJET・傾向その1 (パターン)

2009.02.17・Report-大場 5/8

\*全体の傾向としては、幾何柄が多い様である。特に今期からデジタルプリントが増えて来ており、輪郭をぼかした物が目立っている。ぼかしたタッチと言う事で、水彩の水玉・葉・花もブラッシュアップされている。

<デジタルプリントのぼかしたタッチ感が新鮮>

固くなりながら幾何柄もソフトな見え方の仕上がりになっている。色使いもカラフルな物が多い様だ。キバタは厚地~薄地まで幅広い物で、展開されている事に注目したい。



カラフルなデジタルプリント

↑水玉も周囲ぼかして描かれている

↑枯葉柄

↑水彩タッチの葉や花柄も新鮮

<アール・デコ調の幾何柄>

特にベルベットや、フロッキー等の毛足のあるクオリティーでのアール・デコ調の幾何柄が多く展開されている。パターンが大きめになって来ている事に注目したい。素材もリネン混の物が新鮮。



↑パールベルベット

↑織紐での展開

↑大きめのパターン

<リボンパターン>

これから増えて来そうなリボンパターン。幾何柄でありながら、女性らしさも演出出来る事から、多くなりそうな予感のするパターン。



<カレイドスコップパターン>

こちらも、これから増えて来そうなカレイドスコップパターン。幾何柄のバリエーションでもあるものの何処か懐かしい感じのする所が魅力的。まだファブリックスへの展開は少ないものの、今後ハイグレードなクオリティーにも登場しそうな気配である。



<ドローイングパターン>

まだ少数なもののハゲ目やスパッタリングなどのドローイング的なパターンに注目。



■ 2009・MAISON&OBJET・傾向その2 (カラー)

2009.02.17・Report-大場 6/8

\*全体の傾向としては、アイテムの中で多色ミックスがとでも増えている。ファブリックスでは同等にターコイズカラーとホワイトの使い方が新鮮。ピンク~パイレットも健在。今後のグラデーション使いにも期待大。

<カラーを積極的に使用した、多色使用や多配色なアイテムが急増中>

昨年の9月展まではプロダクトアイテムや小物の展開に多かった色使いが、ファブリックス等の大きなアイテムでも展開される様になったのが1月展の大きな変化と言える。ディスプレイにも前面に使用される事が多く、露出度が多く注目の集まるカラーリングになっている。楽しさを伝える色使いが、暗いイメージの強い市場に元気を与えてくれそうである。



↑1つのアイテムに多く見られる多色使い

↑ファブリックスにも多く見られる

↑ディスプレイに多く見られる他配色展開

↑カラーリングが多く見える効果的なディスプレイ

<ターコイズはホワイトを取り込んで爽やかに>

爽やかなターコイズの色使いが新鮮。グレイッシュカラーを少し加える事で、上品さと大人っぽさを演出している。



<ピンクのグラデーション>

レッド~ピンクの組み合わせが引き続き多い。今回はパイレットとの組み合わせは少ない。



↑ボタンで埋め尽くしているクッション

<パイレット>

パイレットの色使いに変化が出て来る。



<モノトーン>

モノトーンは引き続き継続。コーディネートカラーに多い。



<グラデーションのカラーリング>

色の使い方の中での変化が表れている。パナールのグラデーションのカラーリングが新鮮。

